

■ 令和3年度 第2回 いきいき西区ささえあいプラン推進委員会

日 時：令和4年3月14日（金）午後2時30分～

会 場：西区役所 健康センター棟 大会議室

（司 会）

西区健康福祉課課長補佐の浮須と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、阿部委員、小竹委員、佐々木委員、鳴海委員から欠席のご連絡がありました。なお、鳴海委員の代理として立佞校区ふれあい協議会会長の西澤様が本日ご出席されておりますので、皆様にご報告いたします。

また、委員の1名貝沢様がまだお見えになってらっしゃらないのですけれども、遅れてこちらに到着されるかもしれませんので、その時にこちらにご着席いただきたいと思っております。

また、前回から推進委員の交代がありました。坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会の推進委員が細野様から円山様に交代されましたことを御報告いたします。

また、更新した推進委員の名簿をお配りしておりますので御確認ください。

それでは、本会について御説明させていただきます。

本会につきましては、後日、会議録を公開するため、会議を録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会に入ります前に、本日の会議資料の御確認をお願いいたします。お手元にお配りしました資料は、まず本日の次第、次にいきいき西区ささえあいプラン推進委員会委員名簿、次にA4の右肩に資料1とございます第3次いきいき西区ささえあいプラン地域別成果振り返りシート。次に資料2、いきいき西区ささえあい推進委員会委員任期図。次に資料3、オンラインモデル事業について。最後に資料4、西区各圏域の支え合いのしくみづくり会議等の報告資料となっております。

資料の不足等ある方はいらっしゃいますでしょうか。もしいらっしゃいましたら挙手いただければと思うのですけれども。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。はじめに五十嵐委員長よりごあいさつをお願いいたします。

（五十嵐委員長）

皆様こんにちは。2月に予定されていた会議が、2月はいろいろ自粛ということで、この時期になったということになりますが、皆様お忙しい中、お集まりいただきましてありがと

うございます。

私は、今職場では、まん延防止措置が解除されたとはいえ、ほとんど画面でしか人を見ていませんので、このように同じ空気を吸いながら、というのも、この時代ならですけれども、同じ場で同じ時間を共有できることが、本当に画面を通したものとは違うあたたかさといえますか、やはり、人と関わるという実感をさせてくれるもので、すごく単純にうれしいなと思っております。

任期もこれで終わりになってしまおうのですが、後ほどごあいさつさせていただきますが、本日最後の委員会となりますけれども、皆さんとの時間を大事に過ごしたいと思います。短い時間ですけれども、よろしく願いいたします。

(司 会)

ありがとうございました。

それでは、これより議事進行に移ります。推進委員会開催要項第4条第2項により、五十嵐委員長に議事進行をお願いいたします。

(五十嵐委員長)

それでは、私の方で議事を進めさせていただきます。

議題(1)「令和3年度の地域別計画の報告について」事務局よりご説明よろしく願いいたします。

(西区社会福祉協議会：鍋谷)

西区社会福祉協議会の鍋谷です。よろしく願いいたします。

まずはじめに、お礼なのですが、各コミュニティ協議会単位の「地区別計画」の振り返りのために、1月から2月にかけて地区懇談会の設定を、皆さんにさせていただいてありがとうございました。ところがそのあと、まん延防止期間に入ってしまったことで、1月にはほとんど開催できない状況になってしまいました。この中で、3地区だけ、すでに早い時期に地区懇談会を開催することができて、振り返りシートがまとまっている地区がありますので、今日は懇談会を開催できた3地区のみ報告をしていただきたいと思います。

中野小屋、東青山、立仏です。皆様のところには資料1という形で、横向きの資料が、この3地区のみお配りさせていただいておりますので、それをもとに地区の推進委員の皆様から、これを全部話すと大変なのですが、5分を目安に、5分程度で内容についてご報告をしていただきたいと思います。

資料1は、左側が令和3年度の取組となっております。右側が令和4年度に取り組みたい事項が記載されております。それでは、中野小屋の大島委員、お願いいたします。

(大島委員)

中野小屋地区の大島です。よろしく願いいたします。

私どもは、1月17日に会議を開きました。こういう状況なので、各年代の方をあまり呼ばないようにして、主に民生委員、コミュニティの役員で開きました。中野小屋地区は、親子三代ふれあい会と瑞穂祭というのがほとんどメインなので、小学校は笠木小学校だけ賽の神というものを今年2年ぶりに行いました。これは取組でやったことで、親子三代はできなかつたのですけれども、お祝いの品というものを各家庭に届けることができました。これも一応、こういう状況の中で達成できたと思います。

これから4年度に向けてみんなで話をしたのですけれども、ハロウィンというものを、昔ながらというか続けている学校があるのです。各家庭に子どもたちが回って、お菓子をいただいてというものを開催する地区が出てきて、それをやりたいなど。あとは笠木樽砧とって、先生は亡くなったのですけれども、樽砧と横笛なのですけれども、あと大太鼓と。それが、子どもが少なくなったので、継続できなくなってきたのです。中野小屋コミュニティで何とかならないか、すぐもったいないので続けていきたいという話でどうしようかという、今、練習を再開する予定だったので、コロナでできなくなりました。でも、解除になりましたので、これからしていきたいと思います。

なにせ、子どもが少ない地域ですので、子どもとお年寄りの、地域でみんながふれあえる地域にしていきたいということで、だいたいこんなことで決めました。

(西区社会福祉協議会：鍋谷)

大島委員、ありがとうございます。今、ハロウィンのお話がありましたが、あのハロウィンとかけているのです。間違いではなくて、ハロウィンと子どもたちが言って、ハロウィンという名前にしているのですよね。ありがとうございます。

次に立仏ふれ協会長の西澤様、お願いいたします。

(西澤(鳴海委員代理))

今日は代理で、鳴海に代わりましてお話しさせていただきます。

当方は毎月三役会で10人ほど役員が集まって、そこに急遽健康福祉課、社協がおいでいただいてご指導いただきまして、大変ありがとうございました。

それでは内容に入ります。今年度令和3年度は、一言で申し上げますとコロナ禍という中で、かなり事業が人数制限や中止ということで、思うようにできなかつたということです。集まる場所が非常に少なかつたという結果です。そういう状況の中で、立仏なじらね隊が発足しました。これは資料4にもあるとおり、病院や買い物、ゴミ捨てなど、そういうものに、高齢者に対して、必要とすることに手助けをする隊ということです。これが、令和3年度の、非常に大きな収穫だと。ただ、担い手やこの活動に賛同してくれる、理解を得ることが難し

い状況にはあります。それから、今、個人情報に関係がありますので、困っている人の情報というのが、なかなか仕入れにくいということが一番の課題ということになります。

来年度ですが、①番のみんなが健康！声かけあって健康づくり、ということで、オレンジロードが昨年できました。すでにあれを使って運動や遊歩道を散歩している方がおります。その中でいろいろ知り合いがお互いに気楽にお話したりしているところはあるのですが、当方としても。行政の方でも昨年もイベントがありましたけれども、当協議会でもそういうことをやっていけたらいいかなというふうに思っています。

②番の住民参加による安心できる生活、ですが、集まりが少ない中で、公園清掃などはできたのですが、やはり会って雑談するということが、非常に、人同士の情報源の獲得というか取得になりますので、会うということが非常に大切だということで、またそれが生活の安心感にもつながるということで、今後とも継続を、もちろんしていきたいと思っております。

当協議会でも、企業との連帯ということで、済生会病院などと一体となった取組ということで、減塩の食事を考えていこうとか、そういうことをやっていたのですが前々年度から、子ども食堂を済生会中心にやろうといていたのですが、コロナで急に頓挫してしまいました。ぜひこれが収束したら、さらに取り組んでいきたいと思っております。

③番ですが、当協議会の目玉にもなりますが、立仏ふなっことというものがあるのですが、これもコロナで中止になってしまいました。これは、子どもの入園前の子育てサロンということで、なかなかできなかったのですが、スタッフ会議程度で実際にはなかなか進んでいかなかった。それからなじらね隊を今後応援していきたいと思っております。

④番の誰でもSOSが発信できる地域づくり、ということで、LINEで支える、LINEをつなげていければ、支える側、支えられる側ともに、情報共有していけるのではないかと思います。

年々、先ほども言いましたが、担い手が非常に高齢化し、支える側、支えられる側ともに歳を増していくということで、こういうものをなんとか後世に残していければと思っております。最終的には、一番上の目標ということで、人との比較ではなくて、自分が幸せ感じる思いやりのあるまちづくり、ということで、幸せなまちづくりというのは、人それぞれ違いますが、幸せと感じられる世の中になっていけばと思っております。以上です。

(西区社会福祉協議会：鍋谷)

西澤様ありがとうございました。立仏のなじらね隊はほかの地区のモデルにもなるような事業でして、今始まったので、始まったならではの課題ですとか、それを解決する工夫なども今後でてくると思いますので、ぜひ情報共有を続けていただきたいと思います。ありがとうございました。

一つ飛ばしたのですけれども、東青山小学校区、貝沢委員遅れているようですので、幹事会議に参加しました小新小針を担当します加野より説明いたします。

(西区社会福祉協議会：加野)

それでは、貝沢さんの代わりに東青山小学校区のいきいき西区ささえあいプランの振り返りについてお話をさせていただきたいと思います。

まず、この振り返りについては、コミ協の役員の皆さんが集まって話し合っ振り返りを行いました。そして、令和3年度できたこと、取組としましては、もちろんコロナでできなかった時期も、自粛した時期もあったけれども、各自治会でお茶の間サロンというものが実施できたということですか、友愛訪問や、敬老の日のお祝いのお届けができたというお話をされておりまして。特に敬老の日については、集まることはできなかったけれども、代わりにお祝い品をお届けに上がったたりして、その中で顔を見ての安否確認や交流ができましたというお話をされておりまして。

また、②番にいきますけれども、セーフティスタッフの協力のもと、登下校の見守り継続できたとか、防犯パトロールを実施することができたというお話でした。

あとは、地域における環境美化活動の推進をコミ協役員ができたというお話。そして、④番ですけれども、こちらは、東青山小学校区はイオン新潟青山店があるところですので、イオン青山の中にいこいの広場という地域交流の場があります。そちらをコミュニティ協議会や地域の団体が使って、いろいろな交流活動をされているのですけれども、そちらのいこいの広場を活用した体操や絵画の会のような形で、友だちや趣味を活かした場所を、もちろんコロナの隙間をみながら、途切れ途切れだったけれども、そういった場所の提供ができたというお話をされておりまして。

令和3年度、特に気になる課題としては、コロナ禍で高齢者の方の孤立というものがとても進んでいることが気になると。あとは、自治会長との連絡会議というのものも、会場確保が難しく、なかなかできなかった。東青山小学校区は、イオン青山にはそういった場所はあるのですけれども、イオン青山の交流スペースもそんなに広くないというか、15人くらい入ったらいっぱいくらいの大きさなので、会場確保が難しいというお話もされておりまして。

そして、令和4年度取り組んでいきたいことにつきましては、コロナが落ち着いたらですけれども、ふれあい祭りやもちつき大会を、ぜひ復活したいということ。あとは、子育てサロン、こちら、イオン青山でやっている子育てサロンなのですけれども、こちら令和3年度はずっとできなかったのだけど、ぜひ、令和4年度からは再開したいということで、今、企画されておりまして。

そして、民生委員と自治会長との連絡会、高齢者世帯について自治会長と民生委員の情報

共有の場ができたらいねというお話。そして、コロナだから屋内で集まるのは難しいけれども、健康ウォーキングや花いっぱい運動とか、外での活動からできたらいねというお話。お茶の間サロン、またコミ協だよりの発行もしていきたいというお話でした。そして、先ほどいったイオンのコミュニティ広場、いこいの広場を使った各種行事もやっていけたらいいなというお話でした。

不十分ですけれども、東青山小学校区の振り返りについてご説明させていただきました。以上です。

(西区社会福祉協議会：鍋谷)

ありがとうございました。

本日ご報告いただいたほかの 12 地区につきましては、現在いくつかの地区でアンケート方式でとりまとめをスタートしているところもありますし、4 月以降、集まって地区懇談会をして、そこで振り返りをしたいという声もありますので、今後個別に相談させていただきまして、同じ振り返りシートという形で、令和 4 年 6 月末までにまとめていただきたいと思いますので、委員の皆様、よろしく願いいたします。

議題 1 は以上となります。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。3 地区の取組の振り返りについてご発表いただきましたが、今ほどの内容についてご質問やご意見等ございましたら、挙手のうえ、お名前をおっしゃってから御発言をお願いします。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(岩城委員)

先ほどの中野小屋地区の取組で、親子三代ふれあい会という、これがメインという話。具体的にはどういうことをされるのですか。参考にお聞かせいただければ。

(大島委員)

中野小屋地区の親子三代ふれあい会というのは、70 歳以上の敬老の方を、各地区で何人というので招待して、その中で 88 歳、99 歳ではなくて 100 歳なのです。お祝いをして、というか、表彰のようなことをするというので、午前中は幼稚園、小学校、中学校の方が演奏したり、歌ったりしてくれて、そこで樽砵も紹介していたのですけれども。午後になると、お昼を食べて、午後からは婦人会の踊りとか、そういうものを披露して、お祝いに座布団を配っていたのです。100 歳の方は特に。

あとは、前の中野小屋郵便局の局長が色紙を一人に一枚ずつ書いてくださっているのです。その色紙と座布団をお祝いに。来られない人は、各地区の代表に渡すのですが、皆さんの

前でお祝いをしてやるという会なのです。分かりましたでしょうか。

(岩城委員)

ありがとうございました。なかなか盛大なことですね。

(大島委員)

そうなのです。1日ばかりなのです。

(委員長)

ありがとうございました。一つの家庭ではなくて、地域の中でいろいろな世代がかかわるということですね。どうもありがとうございました。ほかにご質問やコメントはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、次の議題に移らせていただきたいと思います。

議題(2)、推進委員の一斉改選について、事務局よりご説明、よろしく願いいたします。

(西区健康福祉課：須貝)

西区健康福祉課、地域福祉係の須貝です。よろしく願いいたします。

私の方から議題(2)についてご説明させていただきます。

それでは、お手元の資料2「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会委員任期図」をご覧ください。こちらの任期図は、それぞれ推進委員ご自身の分だけを配付させていただいております。この説明につきましては、前回の第1回推進委員会でもお話させていただいておりますが、前回欠席された方や、今回から新しく委員となった方もおられますので、改めてご説明させていただきます。

まず、この推進委員の任期は原則3年としており、今回の任期は令和元年度から令和3年度の3年間になります。令和4年度は、委員皆様が一斉改選となります。コミュニティ協議会様より推薦された委員につきましては、すでにコミュニティ協議会長様に3月1日付で推進委員の選出についてのご依頼をさせていただいております。また、地域福祉に関する団体及び学識経験者については、別途候補者の方をご推薦いただいております。公募委員については、本委員会に先立ち、選考委員会を行い、作業を進めておりますことをご報告いたします。

なお、委員改選につきまして、要綱の規定により、委員の再任については可能ですが、最長6年の任期となっております。ご自身が務められた期間については、お手元の任期図でご確認ください。

この会議の最後、次第4になりますが、今任期終了にあたり、委員の皆様から一言ずつごあいさつを賜りたいと存じます。内容については、第3次計画策定や地区懇談会のこと、あ

るいは今任期の総括や感想など、何でも結構でございます。よろしくお願いいたします。

議題（２）につきましては、以上です。

（五十嵐委員長）

ありがとうございました。それでは、今の内容について、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。特にございませんでしょうか。では、ないようですので次の議題に移らせていただきたいと思えます。

議題（３）のその他になりますが、事務局よりお願いいたします。

（西区健康福祉課：小林）

西区健康福祉課地域福祉係の小林でございます。いつも大変お世話になっております。

私の方からは、オンラインモデル事業に関するご報告ということでお話しさせていただきます。

お手元の資料３、オンラインモデル事業について、をご覧ください。これは、コロナ禍で外出や地域活動を自粛することで、地域のつながりが薄れることが懸念される中、人と人とのつながりを維持するためにオンラインを使った事業を公募したもので、西区の特色ある区づくり事業として、令和３年度に行いましたものです。この資料は３月２０日号の西区だよりに掲載予定のものでございます。

今年度、いくつかの事業が行われましたので、その内容をご紹介します。

一つ目の新潟大学のＡホームと南心会という地域住民の有志の会の共同事業となりますが、こちらは、これまで交流を行ってきたものの、コロナ禍で続けづらい状況を改善するために、本事業に応募されたものです。オンラインを活用したことで、顔を見ながら交流活動を継続できたという内容となっております。

二つ目は中央区にあります専門学校新潟医療福祉カレッジの学生が、西区の地域の茶の間の利用者など、高齢者との交流を進めるために、スマホ講座を行ったという内容になります。操作方法を、学生が講師となってお知らせしたほか、学校とお茶の間を結んだオンラインの交流も行われました。

三つ目は、東小針自治会によるスマホ教室です。行政の感染対策などの閲覧の仕方などを学ぶとともに、すでに開設されている自治会のＳＮＳの操作方法を、交流しながら学んだということです。

こちらの事業につきましては、来年度も引き続き公募の事業を行う予定としておりまして、裏面に募集のチラシを掲載しております。委員の皆様のお近くでも、何かご興味のある方、またお問い合わせ等ございましたら、西区健康福祉課までお知らせください。以上です。

（五十嵐委員長）

ありがとうございました。

(西区社会福祉協議会：加野)

続きましてその他の2番目、支え合いのしくみづくり推進員活動報告に移らせていただきます。私、西区社会福祉協議会で支え合いのしくみづくり推進員をしております加野と申します。よろしくお願いいたします。

お手元にご覧いただけます資料4をご覧ください。西区各圏域の支え合いのしくみづくり会議やささえあいのしくみづくり推進員の活動を報告します、ということで、支え合いのしくみづくり推進員がかかわった地域活動や支え合いの取組について、今年度の動き等をまとめたものでございます。

詳しくは読んでいただければと思うのですが、コロナ禍での支え合いのしくみづくり研修会ということで、オンラインで、今回は地域の社会福祉法人の方を対象に、地域貢献はどうしたらいいのかということを行いました。今ほどご報告いただきましたささえあいプランの懇談会にも、推進員、参加させていただきました。

また、次のページはぐっていただきまして、生活支援の取組ということで、立仏の西澤さんからもお話がありましたとおり、高齢者の方のゴミ出しや通院、庭木のお手入れとか買い物、これは、坂井輪小・小新中まち協の方でもやっておりますけれども、そういったところで高齢者の困りごとを、地域住民で支え合うような取組も行われました。また、地域でのネットワーク作りということで、こちらにいらっしゃる方も参加してくださっている方が多いと思いますけれども、コミ協内での、各地域の取組について情報共有したり、民生委員と自治会長の懇談会や、認知症というところをテーマにして、自治会と民生委員が話し合うような、そういった機会を作ってくださったところもございました。

また、多世代交流ということで、大学生や小学校、高校生、それぞれ地域のいろいろな取組に子どもたちと地域の人たちとがかかわるような、そういった取組も行われました。ぜひ、お帰りになってからご覧になっていただきまして、支え合いのしくみづくり、こんな取組が動いているのだなというのをご覧いただければと思います。

こちらの取組、今、後ろにおります支え合いのしくみづくり推進員も、あと3人いるのですけれども、こういった支え合いのしくみづくり推進員も、地域の方と一緒にあって、話し合いながら取組を進めてまいりますので、もしこういう取組に興味あるとか、やってみたいなとかがございましたら、遠慮なく一番最後に、推進員の一覧表についておりますので、こちらにご相談いただければと思います。

以上、支え合いのしくみづくり推進員の活動報告でした。

(五十嵐委員長)

どうもありがとうございました。それでは、今ほどの二つのご説明について、何かご質問やご意見等、ございますでしょうか。ございませんでしょうか。写真入りで、こんな活動をしているのだというのが、すごく分かりやすく、またゆっくりみさせていただけようと思います。どうもありがとうございました。

それでは、以上を持ちまして、本日ご用意しました議題は以上となります。ご協力ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

(司 会)

五十嵐委員長様、ありがとうございました。

それでは、次第の4といたしまして、先ほどの議題(2)でもお伝えさせていただきましたとおり、今任期終了にあたり、委員の皆様からごあいさつをいただきたいと思います。

なお、五十嵐委員長、原副委員長、大島委員、前川委員からは、通算6年推進委員としてお務めいただきました。長い間、委員を務めていただきありがとうございました。

それでは、名簿順とさせていただきますので、始めに原副委員長から一言お願いいたします。

(各委員あいさつ)

(司 会)

ありがとうございました。

それでは、最後になりましたが、次第の5といたしまして、西区健康福祉課長と西区社会福祉協議会事務局長から、皆様へごあいさつを申し上げます。

まず、西区健康福祉課長よりお願いいたします。

(健康福祉課長：田中)

いつもお世話になっております。健康福祉課長の田中です。

今回の任期中の一番大きなことといえば、やはり第3次計画の策定であったかと思います。とはいえコロナ禍で、集まり自体が制限される中で、計画が策定できるのかというところは心配されましたけれども、皆様には趣旨をご理解いただき、ご協力いただいたことに大変感謝しております。

また、コロナ禍なのでよりいっそう支え合いの大切さというのが身にしみて理解できたという声もあったかと思います。今回、退任される委員の皆様もいらっしゃいますが、今後と

も西区の支え合いにご理解、ご協力いただければありがたいと思います。大変ありがとうございます。

(司 会)

続きまして、西区社会福祉協議会事務局長よりお願いいたします。

(西区社会福祉協議会事務局長：佐藤)

皆さん、お疲れさまでございます。西区社会福祉協議会事務局長の佐藤でございます。

今回をもちまして任期の終わります委員の皆様方、大変お疲れさまでございました。引き続き委員をお引き受けしていただく方につきましては、今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

今ほど田中課長からもお話がありましたように、令和2年度にちょうどコロナの中で第3次のプラン策定を皆様方中心にさせていただいて、令和3年度、初年度スタートという中で、緊急事態宣言であったり、先日までのまん延防止ということで、なかなか地域での活動ができずに十分なプランを推進できなかったような1年だったのかなというふうに思っております。

ただ、その中でも各地区で工夫をされていろいろな活動をされているというふうに思っておりますし、今日はわずか3地区の事例報告ではございましたけれども、ぜひ来年度は15地区の活動がこの場で報告をされて、お互い情報共有、さらに西区の地域福祉活動推進が発展していけばというふうに思っております。

微力ではございますが、社協としてもさまざまな形でご支援していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。本日はお疲れさまです。ありがとうございました。

(司 会)

それでは、以上をもちまして、令和3年度第2回いきいき西区ささえあいプラン推進委員会を終了させていただきます。

皆様、お忘れ物などないようお気をつけてお帰りください。

本日は、大変ありがとうございました。